

じゃっと新聞

NO.47号

定期総会のお知らせ

発行日：2007年4月17日

発行人：小幡 順子

発行所：じゃっと事務局

〒895-0052 鹿児島県薩摩川内市神田町
11-20 若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



タンミサイ地域図書館衛生セミナーにて
手洗い指導を受ける子どもたち

早いもので、国立ラオス大学近くに建設された「タンミサイ地域図書館」開設にあわせて1月はじめに行ったじゃっとツアーからもう3ヶ月近くが経ちました。今回はこのツアー報告を中心としたお届けをします。

学校視察でいつも思うことですが、教師の話を聞くラオスの子どもの目は輝いています。少しも先生の言うことを聞き漏らすまい、身に付けようとする意欲にあふれた目をしています。今回のセミナーでも「食べものの旅」「手洗い」の話をこちらが驚くほどの集中力で聞いてくれました。

会長 小幡 順子

手洗いは衛生予防の第一段階です。過去、日本には手洗いを始めとする衛生教育活動で飛躍的に3歳児未満の死亡率を下げたという実績があります。衛生管理というと特殊な機械やマニュアルが必要だと私たちは考えがちですが、手洗いなどの基本的なことですぐに改善されることが多いのです。(不二家の事件はその基本を忘れたためのことではないでしょうか)

基本の基本を大切に、これからもラオスの学校保健のために各種教育セミナーの立案と実施を行っていきます。

ラオス スタディツアー実績報告

2007年1月3日(水)~1月7日(日)

報告者 小橋順子

訪問内容等

1月4日 Nong Kheng 小学校

2003年のプロジェクトでトイレ・井戸・自転車ポンプを設置した学校。

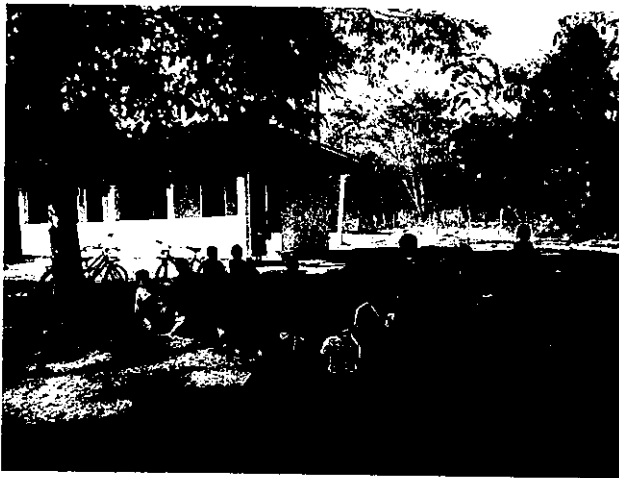
昨年度、建物建設資材の補助。昨年度ツアー時に、バーシーを行い、その後村を散策した地区。

昨年度から校舎建設は続いているが、村人による結い作業の為、なかなか進まない様子。

プレート張りは、校舎の壁が完成した際に取り付けてもらうように依頼。

今回、机椅子記名作業。

トイレ・ポンプ共に使用されていた。トイレに臭いはなく、清掃状況も良好。



机椅子記名作業中じゃまにならにないように

青空教室中の2年生

1月5日 Nathain 小学校

2003年のプロジェクトでトイレ・井戸・自転車ポンプ設置した学校。

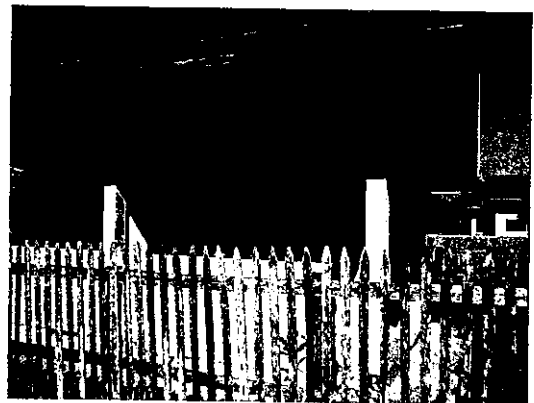
その後、ポンプが故障する。修理を行なおうにもビエンチャン市内から遠く、また材料代捻出も難しい為、一時期使用していなかった。サムチット医師たちの巡回指導の際、村に電気が通じたので電気ポンプに切り替えたい旨の要望があり、現在電気ポンプを使用。

ポンプが使えない時期は、掃除も疎かになっていたとのこと。その後、ポンプが使用できるようになると、掃除も行き届くようになったとのこと

今回、机椅子記名作業、校舎とトイレにプレート設置。



私たちの訪問に、あわてて手を洗いに行く子どもたち
水道より農業用水路が身近なようです。



↑プレートを設置してもらっています。

1月5日 Tha Din Deng 小学校

今年度からの援助対象校。校舎建設資金として80万K。 イン・ペーイ校長
Nathain 小学校から、更に15分ほど奥に進んだ地区。

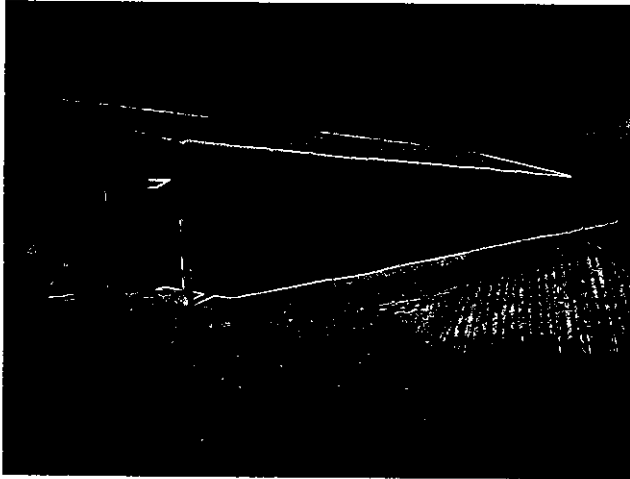
小学校と中学校が同じ敷地にコを描くように併設。じゃっとでは小学校のみ援助

小学校1~5年 300名 中学校1~3年 400名以上

小学校コンクリート校舎8クラスと木製校舎1クラス。うち、じゃっと援助3クラス分
残り5クラス分の柱と屋根は、シンガポール人からの寄付。他の資材と労力は村人。

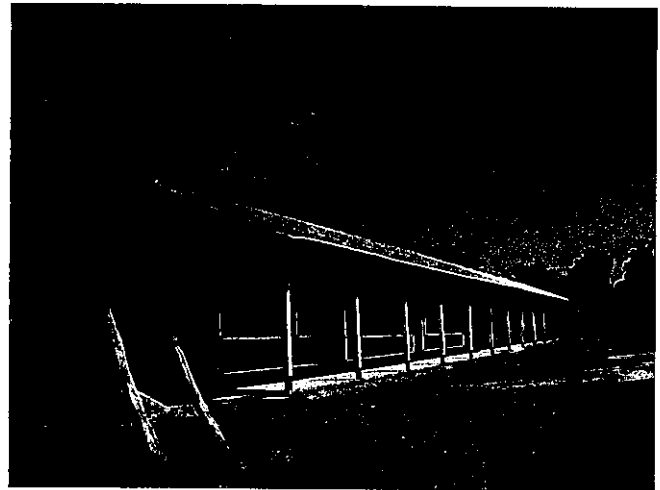
1~4年 1学年2クラス

5年 1クラス(但し、木製校舎は他の教室より広いので人員的には同じではないかと思われた)



← じゃっとが援助した部分ただ今、建設中です。

(九州電力生活協同組合寄附金による)



外国の国際団体より寄贈の中学校の新校舎 →
ペンキ塗りたての匂いがしました。

中学校 新校舎6クラス分建設中~外国の国際女性団体?からの寄付(3万ドル)

他に、木製校舎2クラス コンクリート校舎

トイレ 1箇所2個室のみ

トイレの穴の横に水を溜めておくコンクリート枠のあるスタンダードなトイレ

使用しているようで小中学校方向にトイレ道が出来ている。

臭いはあるが、掃除はよく行き届いている。

水用ポンプ(施錠) 中華系会社より寄付(持ち主はシンガポール人)

電気ポンプ使用、フィルター付のかなりよいポンプ

必要な時だけ、ポンプを動かしているとのこと

1月5~6日 タンミサイ地域図書館

ラオス国立大学近くに沢田先生のNGOが出資して建設。

近くに、地域の寺院と中学校あり。

そのためか、商店・食堂が多い道角に立地。

建物1階部分の約1/3部分を地域図書館として使用。日本の標準的な教室程度の広さ。

普段の管理は、沢田先生の元秘書の方が行なうため土日のみの開設となる予定。

しかし、様々なレクチャーを行う時は、その都度開放とのこと。

来年度には、裏手に私立小学校建設予定。

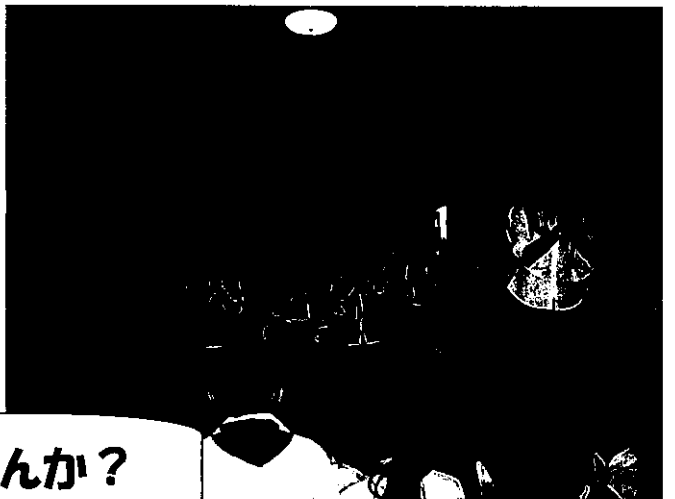
とっても立派な建物です。 →

1階の右側が地域図書館です。



← じゃっどで行なった健康セミナー
食べ物の流れをエプロンシアターで説明しました。

ラオスで大人気歌手ノイト、ちびっこ歌手団 →
子どもたちに、「健康の歌」などを披露しました。



みなさんも、ラオスへ行ってみませんか？

じゃっどでは、毎年会員によるスタディツアーを行なっています。日程は、支援対象校視察を中心に、参加者の希望などを聞きながら調整します。

今年は、11月に行なわれる「タートルアン祭り」
(11月入って最初の満月日前後に開催、今年は11月24日頃?)にあわせて行なう計画です。

今回のスタディツアーでのお知らせ
(このジャケット) 制服は
(株)ニシムタさんから頂いたものです。
有難うございました。

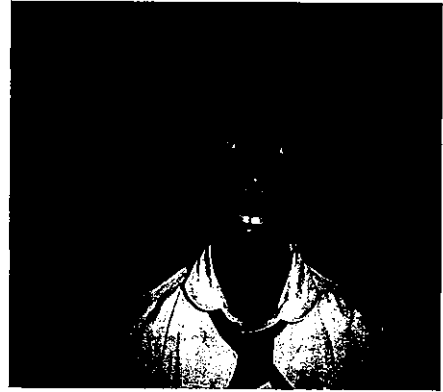
じゃっどの旗ができました。
いろいろなイベントにもって行く予定です。



1月5日 タンミサイ図書館にて

チャンスヴダ・ブンカンディちゃんにインタビュー

タンミサイ図書館でのレクチャーの後、近くにいた少女
チャンスヴダちゃんに日頃の生活をインタビューしました。
その内容を、ご報告します。



年齢は？：小学校5年生です。

学校は楽しいですか？：楽しいです

好きな教科は何ですか？：算数が好きです。

将来になりたい職業はありますか？：医者になりたいです。

あなたの一日の様子を教えてください：

朝 6時ごろ起きます。

朝食までの間、両親や同居しているおじちゃんたちの手伝いをします。

どんな手伝いをするのですか？：

ご飯の支度や、掃除、茶碗洗い、家がフルーツ販売とテーラーをしているのでその店の準備の手伝いをします。

学校へは何時ごろ行くの？：

7時から8時の間です。午前中の授業が11時に終わるので、一回うちに帰ってお昼ご飯を食べます。午後の授業は1時から始まるので、また学校へ行きます。

夕方何時まで学校があるの？：4時までです。

学校が終わったら、また家の手伝いなどをやるの？：

英語の塾に行っています。土曜日と日曜日以外は毎日塾へ行きます。英語は大好きです。

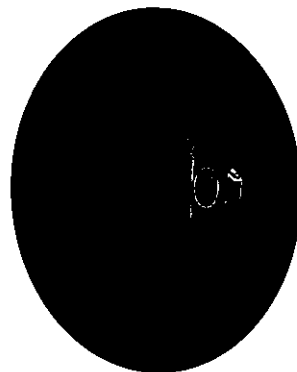
塾が終わったらどうするの？

6時半ごろに家にかえります。家が商売をしているので、夕食は遅いです。おばあちゃん達が帰ってくるまでは、家の手伝いをしたり、お風呂に入ったりしています。夕食はいつも9時過ぎくらいです。その後は、寝ます。

何人家族なの？：

両親と妹1人、おばあちゃん、おじいちゃんはまだ生きています。そして、おじさん2人、おばさん2人(2夫婦?)と従兄弟が4人います。全部で13人で暮らしています。

今日は色々教えてくれてありがとうね：



次のレクチャーが始まったので、もっと聞きたいことはあったのですが、ここまででした。「誰か、お話してくれるかな？」と問いかけた時、「はい」とすぐに手を上げてくれて、「あなたのことを、日本のみんなに紹介するけどいいかな？」との問いにも、ちょっと考えてから「いいです」と答えてくれたチャンスヴダちゃん。見ていると、みんなのリーダー的な存在らしく、小さな子どもの世話をしたり、悪戯な子どもには注意をしたりして、周りを仕切っていました。きっと、勉強にも頑張る優等生だろうなと思うことでした。

タンミサイは、近くにラオス唯一の大学、ラオス大学があり、中心部から 20 分ほどの住宅も多い地域です。最近ラオスでは、中産階級が増え、子どもの教育に熱心だとは聞いていたのですが、たまたまインタビューした子が週 5 日塾に行っているとは驚きでした。

また、レクチャーに参加していた子どもたちの服装を見たとき、初めてラオスに行った 99 年とは違い、ツギのあたっけはいはきれいな服を着ている子が大半でした。こんなところからも、ラオスという国が豊かになってきたのだと感じました。

しかし、中心部から 1 時間以上離れた地区に行くと、相変わらずの子どもたちの服装です。段々と地域格差が広がっているようにも感じました。

ラオス人は名前をつける時、色々な思いを込めて名づけると聞いていたので、チャンスヴダちゃんの名前についてもガイドのリーさんに聞きました。

チャンは「好き」という意味で、スヴダは果物の名前だそうです。

そういえば、カウンターパートナーである Dr ソムチットの息子さんの通り名はココで、娘さんはナナ。それぞれ、つわりの時に食べたかった食べ物だと教えてくれたことがありました。(ココ：ココナッツ、ナナ：バナナ) チャンズヴダちゃんもそうなのかしらと、ちょっと嬉しくなりました。

タンミサイ図書館の様子



じゃっど小さな医者さんプロジェクト 2006年4月～12月 活動報告

プロジェクトマネジャー：ソムチットアッカヴォン医師から 2006年12月10日報告が届きました。

ラオス側 代表 Dr.Somchit Akkhavong

1. はじめに

10年来、“じゃっど”はラオスに於ける多くの小学校、特にビエンチャン特別市内の学校にトイレを建設、水の供給、机やイス、黒板等の供与を行ってきた。さらに、現地スタッフによる健康診断、駆虫薬投与、ミルクや文具、教師には同様に教育教材も寄与してきた。セミナーを開催し、保健衛生の知識を教え、子ども達に教えることができるように、指導した。昨年度と本年度、紙芝居を供与し、その使い方や、アナマイソング(衛生についての歌)の歌い方も指導してきた。

2. スーパービジョンと寄付

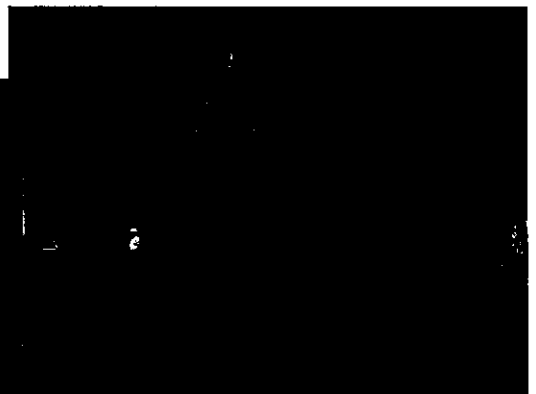
・ Nathair(ナテ)小学校

自転車ポンプの故障が多く、部品も入手困難。電気が届いたので、電動ポンプに換えた。校長先生の依頼により、机とイスを供与した。



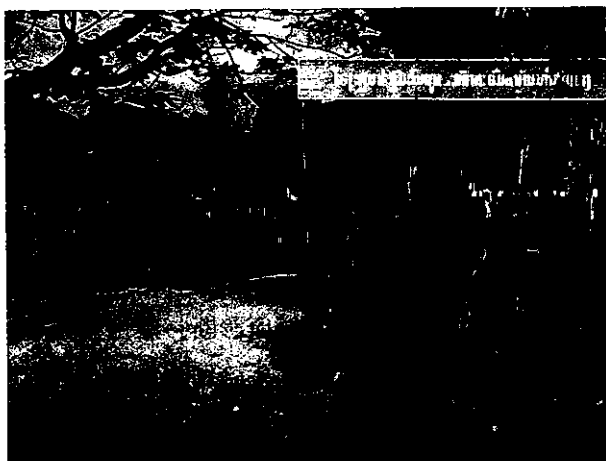
・ Nongkheng (ノンケン)小学校

ノンケン小学校では、児童用の机とイス、教師用の机とイスを供与しました。



・ Tha Dinh Deng(ディンデン)小学校

校長から校舎壁の材料の供与依頼。村人は労力を提供。生徒数は320名。村は307世帯1524人。



3. 教師対象のセミナー：10月21日（2006）

ナテ小学校で教師のためのセミナーを開催。参加者はナテ小学校、ディンデン小学校の教師達15名。目的は、健康についての情報と、教師たちの基礎知識の向上。セミナー終了後、教師はこのセミナーで得た知識を各学校で子ども達に伝える。

このセミナーの主な講師

1. Dr. ソムチット（じゃっど現地プロジェクトマネージャー）（Dr. コンサップの妻）
ラオス国保健所（日本の厚生労働省）母子保健副部長
2. Dr. コンサップ（じゃっど現地スタッフ）ラオス国熱帯医学研究所 ラオス側所長
（Dr. ソムチットの夫）（もう一人フランス人所長がいる）
3. Dr. ボーラバンド（サイタニー郡、保健課）
4. Dr. カームセイ（サイタニー郡、保健課）

講義内容

- ・ じゃっど、「小さな医者さんプロジェクト」の紹介
- ・ 健康の定義
- ・ 下痢、寄生虫、マラリア、デング熱
- ・ 個人の衛生設備と衛生、3つの衛生：【ラオス国でこの「3つの衛生」を】食べ物、水、住居
- ・ 手洗いの7つの技術、喫煙の副作用

セミナーは、対話式で参加型としました。期間は1日です。受講者は保健の分野を受講できてとても、喜んでいました。寄生虫やデング熱など日常的な病気について深く学んだのは初めてだったと言うことでした。セミナーを修了した教師たちは各々の学校の生徒達に今日学んだことを伝えます。



4. ナテ小学校とダディンデン小学校の健康診断 10月26日(2006)

ナテ小学校 生徒数：176 欠席：21

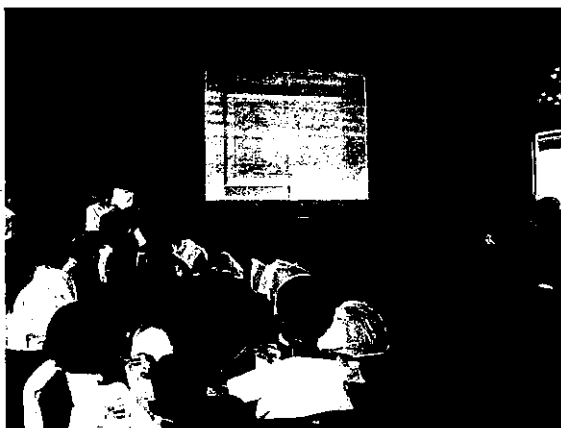
ダディンデン小学校 生徒数：320 欠席：129

NO	学年	児童数
1	1年生	21
2	2年生	31
3	3年生	36
4	4年生	29
5	5年生	38
	合計	155

No	学年	児童数
1	1年生	58
2	2年生	26
3	3年生	30
4	4年生	39
5	5年生	38
6	中学生	4
	合計	195

健康診断の活動内容

1. 身長測定
2. 医学部学生による健康診察
3. 一人1個ずつ、メベンダゾール(駆虫薬)を服用
4. 牛乳の供与
5. 紙芝居を使って保健教育
6. 十二指腸虫、回虫、ました。バコの害についてコンピュータープロジェクターを用いて講義
7. 健康教育の後、生徒に衛生についての質問ゲームをし、正解すると鉛筆を貰える
8. “じゃっど”が作成したアナマイソング(衛生の歌)を練習
9. スポーツ用品の供与



じゃっどが作った、「アナマイソング」を練習し、とても喜んでいました。

保健教育にコンピュータープロジェクターからの画像を使うことで、生徒たちは大変関心を持った。

ナテ小学校とタディンデン小学校にスポーツ用品の寄付 ボールを校長先生に渡す Dr.Somchit



5 タディンデン小学校に寄付

タディンデン小学校は貧しい。校長先生、村長、郡教育委員会が金額は約 7,745,000 K i p を“じゃつど”に要請した。Dr, ソムチットは本当に必要かどうかを検討した。以下の立会人と共に修理費用額が決定された。立会い人：村長、党の書記官、P T A、村の会計、村の保安部、村の公民館、教師代表

6 “じゃつど”活動のための経費の概要（詳細はその支出報告と添付の請求を参照）

繰り越し	“じゃつど”から受け取った 2006-07年の活動費	4月～12月支出	残
2,012Bath	114,000Bath	83,567Bath	
	収入合計		
	2,012+11,400= 116,012	83,567	32,445Bath



身体検査で診察を行った
医学生チーム
(左から5番目の女の子は
ソムチットコンサップ夫妻の
長女N a n aです)

【 事務局たより 】

新規会員・ご寄付（2006年11月～2007年3月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。（以下敬称略）

- 新規会員（株）南九州ペプシ（鹿児島市）西田泰子（阿久根市）藤田静子（薩摩川内市）
- 平成18年度会費 若松郁子、若松裕子、本田文男（薩摩川内市）豊平安子、米山史朗（鹿児島市）神田安代（阿久根市）吉田いつ子（広島県）
- 平成19年度会費 山陸裕康、木原兼博、橋口正美、橋口喜久、下尾崎健一、本田文男、川畑善照、田畑福男、森岡芳子、古田宣稔、土川京子、田中英世、辛島芳子（薩摩川内市）神田安代（阿久根市）尻無浜むつみ、有川清猛（いちき串木野市）宇津木和夫、堀内恵子、高橋栄子（東京都）田邊ツル子、夏越久美子（鹿児島市）濱田真寛（大阪府）
- 平成20年度会費宇井豊（神奈川県）南武嗣（鹿児島市）中馬美智、帖佐秀人（日置市）関隆子（薩摩川内市）
- 寄付金 豊平修、納光弘、重留万希子（鹿児島市）宇井豊（神奈川県）木原和子（大阪府）、江口紀子、繁昌千代子（薩摩川内市）帖佐秀人（日置市）吉田いつ子（広島県）高野眞綾（埼玉県）
- 机、いす募金 2口：小林義郎、長崎綾子（東京都）上床久子、上赤順子、帖佐理子（薩摩川内市）、高野眞綾（埼玉県）1口：橋口正美、橋口喜久、下尾崎健一、田畑福男、下茂帛子、宮脇美智子（薩摩川内市）納光弘（鹿児島市）宇井豊（神奈川県）上原憲一（出水市）有川清猛（いちき串木野市）
- 大口寄付 九州電力生活協同組合（鹿児島市）小幡順子（南さつま市）上赤順子、帖佐理子（薩摩川内市）
- 助成金 薩摩川内市国際交流協会
- 寄付 加世田小学校 文房具
- 印刷(じゃっど新聞、じゃっどパンフレット、机イス募金、振込用紙) アクティブ（神崎）
- 新聞作成 神崎侯至 宮脇美智子 岩切洋美

・【国内活動】

- 11月4日 「NPO人間講座」小幡会長参加
- 11月17日 じゃっど新聞発送（会員分）
- 11月25日 第2回鹿児島共生・協働センター運営協議会参加（鹿児島市・小幡会長）
- 11月28日 国際交流協会「世界を知る、日本を知る」帖佐

事務局長講座

- 11月29日 川内共生、協働推進大会参加（帖佐事務局長）
- 12月1日 じゃっど新聞会員外郵送、ホームページ更新
- 12月2日 じゃっど親睦会（海外青年協力隊OB他、小幡、古田）
- 12月24日 平成18年度県内国際交流団体等意見交換会
- 12月26日 薩摩川内市役所職員事務所訪問（補助金などについて）
- 1月6日 市役所コミュニティー課 馬場氏 事務所訪問（米百俵への推薦、交流センターHP等への指導者、講師等の登録について）
- 1月12日 理事会（小幡、古田、帖佐、宮脇）
- 1月27日～28日 研修参加（アジア太平洋研修センターにて、小幡会長）
- 2月3日 川内ライオンズ主催 青少年の主張（小幡出席）
- 2月5日 HP、スタディツアーのお知らせ
- 2月18日 タイカレー会（ツアー報告会）



- 2月26日 じゃっど新聞編集会議（神崎、高橋、岩切、宮脇）

- 3月6日 九州電力生活協同組合委員長 吉丸氏 寄付金贈呈式

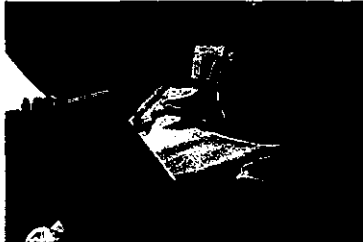


- 3月18日 第4回きやんせふるさとフェスタ 増岡淳子、小幡順子、芝こうこ、仮屋洋子
- 4月5日 じゃっど新聞発送準備 立島尚子（ボランティア）

じゃっど INFORMATION

★ ラオス語翻訳シール貼り。ご協力有難うございました

のべ 30 名の方々の協力で 58 冊完成しました。中には氏名をラオス語で書いてくださった方もありました。今回は来年の 2 月に全国から集められラオスに届けられます。



自動販売機の設置について

ペプシ鹿児島自動販売機を設置して国際援助をしませんか。

このたび、ペプシ鹿児島では、NPO じゃっど と契約し収益の一部を NPO じゃっどに寄付するシステムをつくりました。自動販売機を設置いただくだけで、国際協力への援助を行えます。

たとえば、お茶 10本をお買い上げいただくと、一人のこどもの寄生虫の薬が買えます。

会社の社会貢献として、いかがでしょうか。

若松記念病院内にも 1 台設置しました。

★ 机いす募金、会費、ご寄付

募金用の申し込み用紙を同封しました。よろしくお願ひします

毎回じゃっど新聞に、振込用紙を同封させていただいています。年会費の納付期限については、封筒の宛名シールの下部分に記入してありますので、ご確認をお願いします。

* 自動振込み会費会員の方、既に会費を頂いてる方にも同封してあります。机、いす募金、ご寄付などにご利用ください

郵便局 02050-2-4746 口座名 JADDO

きやんせふるさとフェスタ

たくさんの人にラオスの品に触れていただきました。

お買い上げありがとうございました。

机、いす募金のパネルを

見ろ



子供たち

総会のお知らせ

日時：平成19年5月 19 日(土曜日)15:00~16:00

場所：すこやかふれあいプラザ(2F 第2会議室)

TEL:0996-22-8811



第15回じゃっど定期総会を、上記の日程で開催いたします。

万障お繰り合わせの上、多数のご参加をお願い致します

尚、正規会員様には総会の出欠確認の為のはがきを同封しました。はがきに記入後投函ください。よろしくお願ひします。

欠席の方は、必ず委任状をご送付ください。

編集後記

- ☺ 郵送からメール便への変更...時代の流れを感じますね。インターネットの普及など、とにかく変化が激しく本当にこれで良いのか、立ち止まる必要性を感じる今日この頃です。年とったかな? (神崎)
- ☺ 初めての新聞作り♡余り時間はありませんでしたが、楽しくさせていただきました。有難うございました* (岩切)
- ☺ 前回までの中心的なじゃっど新聞編集メンバーの高橋さんが事務局をお辞めになりました。彼女のじゃっど事務局の貢献の大きさをあらためて感じます。お疲れ様でした。(M. M)